


⑬鳴門市(C1166)

SL静態保存活動調査表(1/2)

SL名称	保存場所	保存開始年月	保存団体	保存活動内容		活動団体		SL活躍の主線区	記事
				作業	回数	代表者	活動数		
C11形式 C1166 S10.3.18 汽車会社 製造	鳴門市 撫養第3 公園	s45.3 (1970/3)	鳴門市 (公園緑地課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元町内会有志がボランティアで随時清掃を実施している。 ・鳴門市が材料を支給して町内会有志(川北倫生氏他11名)と鳴門市立高校機械工作部の生徒10名が、h20.10.18~30に塗装等のリニューアルを実施した。 	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・地元町内会有志 ・鳴門市立高校機械工作部 ・川北倫生氏ほか 	松山機関庫 大館機関区 山形機関区 多度津機関区 小松島気動車支区 内子線、宇和島線 芸備線、北上線 坂出貨物線、鳴門線 s45.3退役 全走行キロ (1,733,901キロ)	・現地写真添付	
保存の由来				由緒					
・鳴門市は四国の中で京阪神に最も近いという地理的な関係から四国路への門戸にあたる町として栄えてきたが、国鉄の開設によりさらに地域経済、産業文化はもとより観光都市として発展を遂げてきた。その先導的役割を果たした蒸気機関車を交通史の文化財として国鉄鳴門線起点にある観光鳴門市に永久保存し国鉄のPRと社会教育の資料とするものである。				・C10を改良した軽軸重のタンク機関車で、けん引力も相当強く区間列車、支線用として広く使われた。この機は新製と同時に四国に配属され、その後本州に渡ったが再び四国に里帰りし鳴門地区で最後を飾った。		・地図 			
<ul style="list-style-type: none"> ・保存状態:良好。 ・プラットホーム屋根付き。サビの侵食有り。 				・JR鳴門駅より徒歩10分					

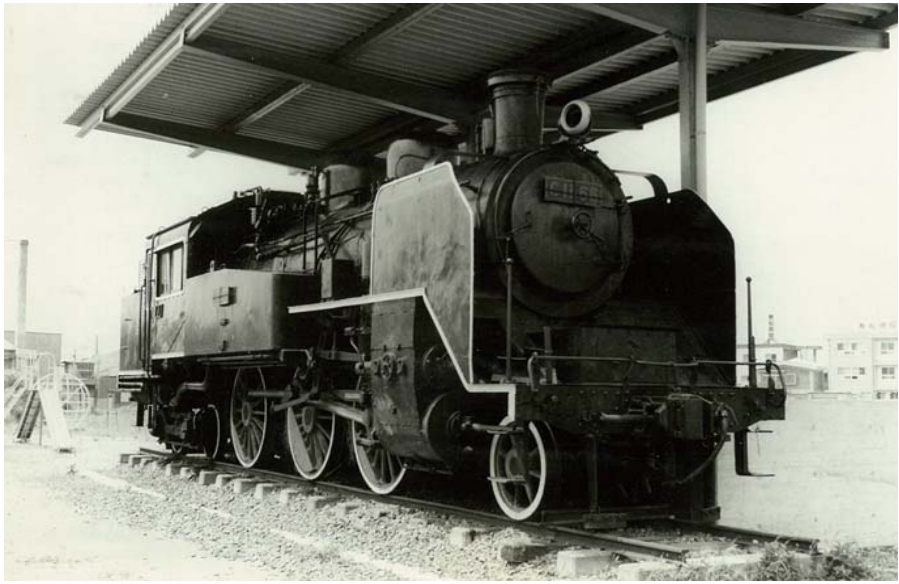
38

⑬鳴門市(C1166)

SL静態保存活動調査表(2/2)

現姿その他

39



保存当時



右上下段 s57.1



現姿 h25.1.24

